

解剖学

責任者：表原 拓也
学年・学期：第1学年・前期／後期

単位数：2単位(45時間)

◆一般目標(GIO)

臨床検査技師として必要な、人体の構造と機能を理解するために、人体を構成する各部位の器官や組織構造を系統別に学習し、さらにそれらの相互関係を理解することによって、基礎医学としての解剖学的知識を修得する。

◆到達目標(SBOs)

1. 解剖用語、人体構成単位について説明できる。
2. 細胞の構造および細胞分裂について説明できる。
3. 上皮組織、支持組織、筋組織、神経組織について説明できる。
4. ヒトの発生について説明できる。
5. 骨の分類、骨の発生と成長、骨の連結、関節について説明できる。
6. 頭蓋骨、脊柱、胸郭、上肢・下肢骨、代表的な関節について説明できる。
7. 筋の分類、筋の補助装置、頭・頸部の筋、胸部の筋について説明できる。
8. 腹部・背部の筋および上肢・下肢の筋について説明できる。
9. 血液循環、動脈壁の構造、心臓の構造と刺激伝導系について説明できる。
10. 大動脈系、脳の動脈、触診可能な動脈について説明できる。
11. 静脈系、リンパ系、リンパ性器官、胸腺と脾臓の構造について説明できる。
12. 鼻腔、喉頭、気管、気管支、肺、胸腔、縦隔の構造について説明できる。
13. 消化管の構成、消化管の組織構造、口腔、咽頭、食道の構造について説明できる。
14. 胃、小腸、大腸、肛門、肝臓、胆嚢、膵臓、腹腔の構造について説明できる。
15. 下垂体、甲状腺、上皮小体、胸腺、腎上腺、性腺の構造について説明できる。
16. 生殖器(精巣、精路、付属腺、卵巣、卵管、子宮)について説明できる。
17. 泌尿器(腎臓、尿管、膀胱、尿道)について説明できる。
18. 中枢神経系、脳室、脳脊髄膜、脊髄の伝導路について説明できる。
19. 脳神経、脊髄神経、交感神経系、副交感神経系について説明できる。
20. 視覚器、平衡聴覚器、味覚器、嗅覚器、皮膚の構造について説明できる。

◆学習方法

必要に応じてプリント等を使い、講義形式で行う。

◆評価方法

中間テストおよび定期試験(計3回)を行い、総合的評価を行う。

◆教科書

臨床検査学講座 『解剖学』 佐藤 健次 著 医歯薬出版(株)
『ひとの組織学 カラーアトラス』 梶ヶ谷 博、熊谷 佑子、松並 平晋 著 メディカルサイエンス社

◆参考書

『解剖学アトラス 原著第10版』 平田幸男 訳 文光堂

◆教員紹介

担当教員は大学での教育経験に基づいて、臨床検査技師養成に向けた授業を展開する。

回数	項目	講義内容	担当
1	序 論	解剖学とは、体形の概要、人体の構成単位	表原
2	細 胞	細胞の構造、細胞分裂	〃
3	組織の種類①	上皮組織、支持組織	〃
4	組織の種類②	筋組織、神経組織	〃
5	ヒトの発生	受精、胚葉形成、組織・器官発生、 外形の変化	〃
6	骨 格 系①	骨の分類、骨の発生と成長、 骨の連結、関節	〃
7	骨 格 系②	頭蓋骨、脊柱、胸郭、上肢・下肢骨、 代表的な関節	〃
8	筋 系①	筋の分類、筋の補助装置、 頭・頸部の筋、胸部の筋	〃
9	筋 系②	腹部・背部の筋、上肢・下肢の筋	〃
10	脈 管 系①	血液循環、動脈壁の構造、 心臓の構造と刺激伝導系	〃
11	脈 管 系②	大動脈系、脳の動脈、触診可能な動脈	〃
12	脈 管 系③	静脈系、皮静脈系、門脈系、 リンパ系、胸腺と脾臓	〃
13	呼 吸 系	鼻腔、喉頭、気管、気管支、 肺、胸腔、縦隔	〃
14	消化器系①	消化管の構成、消化管の組織構造、 口腔、咽頭、食道	〃
15	消化器系②	胃、小腸、大腸、肛門、肝臓、 胆嚢、膵臓、腹腔	〃
16	内 分 泌 系	下垂体、甲状腺、上皮小体、 胸腺、腎上腺、性腺	〃
17	生 殖 系①	男性生殖器(精巣、精路、付属腺、 陰茎、精巣下降)	〃
18	生 殖 系②	女性生殖器(卵巣、卵管、子宮、 膣、外陰部、会陰)	〃
19	泌 尿 器 系	泌尿器(腎臓、尿管、膀胱、尿道)	〃
20	神 経 系①	中枢神経系の区分、大脳の構造、 小脳、間脳、中脳	〃
21	神 経 系②	橋、延髄、脳室、脳脊髄膜、脊髄の伝導路	〃
22	神 経 系③	脳神経、脊髄神経、交感神経系、 副交感神経系	〃
23	感 覚 器 系	視覚器、平衡聴覚器、味覚器、 嗅覚器、皮膚	〃